

### 町営学習塾をどう充実させるのか

遠藤町長／参加生徒、保護者の意見を反映

**遠藤** 中学校の学習支援事業として、現役大学生を講師に迎え町営学習塾を開校（26年6月以降毎月2日間、8月（3日間）休校）

「子供たちには将来の夢と希望を実現できるように教育を提供したい」とする町長の思いを具現化した町営学習塾を今後、どのように充実させ運営していくのですか。

**町長** 次年度開催に向け、新入生はもとより、新2年生、3年生に対する授業内容の周知と参加呼びかけに努めます。

今後のあり方は、参加生徒や保護者の意見を聞きながら、高校受験を見すえ、内容の充実に取り組みたいと考えています。



遠藤 浩 議員



大学生講師による学習塾

### 賠償金や見舞金はいついただけますか

遠藤町長／継続的に力強く働きかけている

**小磯** ①選挙前から町民と約束された各賠償金、見舞金等、今日に至るまで検討中・要望中と何一つ実現していません。いつ頂けますか。

②当選後2ヶ月に1回実施する約束された「町政懇談会」が実施されていません。なぜ実施できないのですか。

③これまでの実績と今後の実施予定をお示しください。

**町長** ①旧警戒区域と旧緊急時避難準備区域の差は大きく、交渉が難航しています。今後、継続的に力強く働きかけを行っていきます。

②本年1月は、復興計画、生活再建の取り組み及び新たな取り組みを説明しました。

2月には、「災害廃棄物等置き場と中高一貫校」、4月には、「平成26年度の町の取り組み」の説明会と懇談会を開催しました。

今後の予定は、年が明けまして、1月を目途に開催したいと考えています。

### 農業基盤の強化策は

遠藤町長／安全管理と魅力ある農業目指す

**小磯** ①米のJA買上価格が下がり、一部に「投げ売り」現象がありますが、国によるセーフティネットを本町に置き換えたとき、補填は10アール当たりいくらになりますか。

②基幹産業としての位置付けであるなら、5年先・10年先の農業基盤強化策をどのように図るのですか。

③県が来年度より導入する「スマート農業」へはどのように対応しますか。

**町長** ①国による販売価格調査を来年3月まで行い決定されるため、具体的な金額はお示できません。

また、対応策は国に対して双葉地方被災地の営農再開農家の理解を得られるよう収入減額の補填を強く要求していきます。

②創意工夫に富んだ農業経営者が新しい農業に取り組める環境を整備するとともに、地域農業者と一体となった農村の地域資源の安全管理と、魅力ある農業を目指したいと考えています。

③情報通信技術やロボット技術の導入により、最少の従事者で効率的な生産活動を行うスマート農業について、県と連携し、その具体化に向けた検討を行うなかで広野町の実情に合ったスマート農業の構築に取り組んでいきます。

### 広野町地域防災計画を策定せよ

遠藤町長／年度内に見直しを図る

**小磯** 「広野町地域防災計画」を策定すべきではないのですか。

①事故後3年9ヶ月経過し、なぜ策定できないのですか。

②「減災」等の基本方針の変更は、考えていますか。

③原子力災害対策重点的區域及び緊急事態区分に必要な基準は、どのように考えていますか。

**町長** ①平成26年度内の防災会議で一括審議し、見直しを図っていきます。

②継続的な防災訓練で防災意識の高揚を図り、平成27年度に向け、盛り込んでいきたいと考えています。

③県が基準に基づき避難行動計画を策定していることから、国・県と連携して計画を策定していきます。



小磯 利雄 議員